

「服部幸應先生と語ろう！」が開催されました



10月10日(火)文化会館ミーティングホールで、市長の友人であり服部栄養専門学校理事長・校長の服部幸應先生を迎え「今なぜ食育か」をテーマにご講演をいただきました。現在ライフスタイルの変化やニーズの多様化により食生活が急激に変わっています。食に対する感謝の念や理解等が薄れ、昔からある日本の食文化も途絶えつつあります。服部先生は、15年ほど前から食育の大事さについて提唱なされ、食育基本法の制定にも携われています。

今回の講演会の対象は市職員、武雄市保育部会、商工会議所、学校栄養士、食生活改善推進協議会の方々に、食育の基本的な考え方や国内、海外の事例や統計等をふまえて、日本の実情などユーモアを交えて講演いただきました。

武雄市からは、健康増進課から健康面での食育の状況について、橘小学校から学校での食育の取り組み、商工会議所からは旅館の「おもてなし」について意見発表を行い、それぞれ服部先生から講評、アドバイスを受けました。

講演終了後は、武雄物産館の「おっ母さんの一膳めし屋」また山内町の「なな菜」で地元農産物を使ったよもぎもち、漬物、黒米加工品等を試食され大変おいしいとの講評をいただきました。

次回は平成19年1月に佐賀県と武雄市の共催で開催するシンポジウムに、服部先生を招き、多数の市民の皆様にも講演を聞いていただくよう計画しております。